

若い力で全力投球！！

勝山ひでお通信

Vol. **3**



ごあいさつ

皆様に絶大なるご支援を賜り、初当選から10ヶ月が過ぎました。

皆様からご要望、激励などたくさんの声をいただき、心より御礼を申し上げます。

安全・安心な長野、住みよい長野、活力ある長野、魅力ある長野を目指し、全力で働かせていただいております。

今後とも暖かいご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

発行 勝山ひでお

TEL/FAX 026-296-5328

ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/nagano-katsuyama-hideo/>

長野市下駒沢2253-1

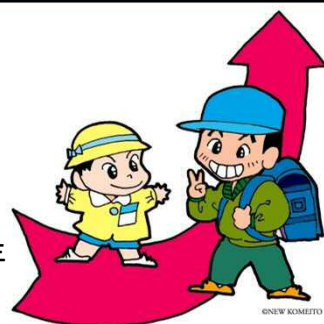
E-mail: katsuyama@nkomei.com

長野市の子育て支援について

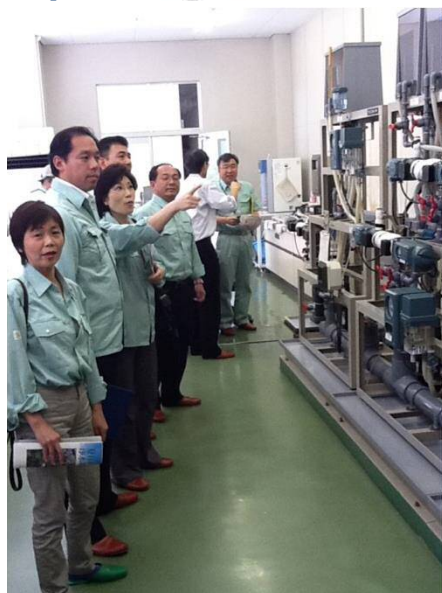
福祉医療費が小6まで拡大！！

保護者の皆様より要望が強かった福祉医療費が、平成24年10月1日より小学校3年生までから小学校6年生まで拡大することが決まりました！（平成24年10月1日以降の診療から）

公明党はこれからも子育て支援に力を入れてまいります！



フォト リポート



長野市清掃センターの視察

← 夏目ヶ原浄水場を視察



権堂地区にある
元呉服店と蔵を視察



6月議会個人質問

6月定例議会が6月7日から22日まで16日間行われ、補正予算等、重要な議案が審議されました。

本議会も個人質問に立たせていただき、主に「長野市地域防災計画」について、「通学路の安全点検」について質問をしました。

主な質問、答弁の趣旨は以下のとおりです。



地域防災計画について

勝山 平成24年長野市地域防災計画を作成するにあたって見直しのポイント、改善点は？

市長 まず、国の防災基本計画、県の地域防災計画に本市としての整合性を図る。また、東日本大震災を教訓に長期にわたる避難生活、原子力発電所の事故、被災地、被災者への支援の項目を新たに追加いたします。糸魚川静岡構造線断層帯の追加土砂災害対応等も計画に反映させる。主な改善点として初動期の対応として、迅速かつ的確に対応できるよう、災害警戒本部の設置や支所への支援職員を配備する。被災者対策として災害時要援護者へ配慮した福祉避難所の運営、避難所での男女別のニーズ及び観光客等の帰宅困難者への対応等の充実を図る。



勝山 平成19年に作成された長野市地域防災計画に「道路及び橋りょうの点検・整備」計画的に行うとありますが現状を伺う。

建設部長 橋長10メートル以上、かつ幅員4メートル以上の135橋について点検を実施。その中で補修・補強が必要とされた27橋のうち、現在までに20橋の故事が完了。市道における全橋りょう1,884橋の調査完了。今後計画的に、修繕が必要となった213橋について補修・補強工事を行う

勝山 「水道の設備・強化」については地震に備え、施設・設備をし、漏水の未然防止をはかると計画にありますが現状を伺う。

上下水道局長 上水道の老朽排水管は、耐用年数40年を過ぎる排水管のうち、平成23年度末までに1.4kmを実施し、進捗率は20%。下水道管路施設の耐震化率は、約31パーセントであります。また、耐震診断は、重要七路線、全延長二十八キロメートルについて、今年度中に実施するとともに、平成25年度末までに耐震対策計画書の作成を予定。この計画書を基に平成28年度末の事業完了を目指し耐震化を進める。

通学路の安全点検について



勝山 文部科学省、国土交通省、警察庁の3省庁が連携して対策案を検討し「通学路における緊急合同点検等実施要領」が作成され、本年8月末までに、学校、保護者、道路管理者及び地元警察による合同点検を実施し、通学路の安全対策必要箇所を抽出することになった。その後の安全対策案の作成、安全対策の実施等のスケジュールについて伺う。

教育次長 対策案は合同点検によって抽出された対策必要箇所に係る関係者及び関係機関との連携・調整の下、本年11月末までにまとめていくことといたします。

また、この対策については、内容によって実施の主体が異なることや、予算の確保・調整が必要となることが想定されますが、市教育委員会及び学校において実施可能な通学路の見直しや街頭指導の強化などは、できる限り早期に対応することとし、道路管理者又は警察が主体となる歩道設置などの道路改良や横断歩道の設置、交通規制の実施などは、計画的かつ早急な実施を要望してまいります。

勝山 通学路の安全対策を徹底するには予算の確保が必要と考えますが御所見を伺う。

建設部長 市では道路新設改良費などとは別枠に、通学路の安全対策のための予算として、通学路整備費を計上して対応している。また、交通安全施設等整備事業費の中で小・中学校周辺の歩道末整備の道路については、路肩を広くとり、さらにカラー舗装とする方法などにより、歩行スペースを確保するセーフティーアップ道づくり事業を重点的に実施している。

今後とも効率的な事業執行やコスト縮減に努め、今年度実施される通学路の合同点検などの結果を踏まえ、必要な予算の確保に努めてまいりたいと考えている。